

令和3（2021）年度

## 「運営に関する計画」

大阪市立瓜破小学校

令和3（2021）年4月

## 1 学校運営の中期目標

## 現状と課題

- 全国学力・学習状況調査において、基礎・基本及び活用に関する問題の正答率に課題があると見受けられる。このことから語彙力・読解力・伝え合う力などの言語活動の充実を図ることが大切だと考える。

## 中期目標

## 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 令和 3 年度の全国学力・学習状況調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 90% 以上にする。

## 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和 3 年度の全国学力・学習状況調査における活用に関する問題の正答率 8 割以上の児童の割合を、平成 28 年度より 5 ポイント向上させる。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

## 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

## 全市共通目標（小・中学校）

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95% 以上にする。
- 小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 85% 以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

## 学校園の年度目標

- 年度末の児童アンケートにおける「自分を大切にしている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 85% 以上にする。

## 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

## 全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント増加させる。
- 小学校学力経年調査（校内調査）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、総合評価「C」以上の児童の割合を 50% 以上にする。

## 学校園の年度目標

- 年度末の児童アンケートにおける「自分で学習計画を立てて学習し、ふりかえりを行い次の学習に活かそうとしている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 60% 以上にする。

## 大阪市立瓜破小学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</b> 全市共通目標（小・中学校） ○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ○小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。 ○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 ○年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。	
学校園の年度目標 ○年度末の児童アンケートにおける「自分を大切にしている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1：安全で安心できる学校、教育環境の実現】 ○清掃活動への意識を高め、たどりて清掃用具の使い方を身につけ主体的に清掃活動に取り組めるようにする。	
指標 ○校内アンケート調査で「ていねいにそうじをしている」の項目で、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。	
取組内容②【施策2：道徳心・社会性の育成】 ○学校や社会のきまりを守ることや、場に応じたあいさつができるように、毎月生活目標を設定して児童に意識させる。 ○いじめや問題行動の早期発見・早期対応に努める。	
指標 ○校内アンケート調査で「先生や友だち、地域の人たちにあいさつしている。」の項目で、肯定的な回答をする児童の割合を75%以上にする。 ○児童理解を深める研修を月1回行う。	
取組内容③【施策2：道徳心・社会性の育成】 ○多様な特性への相互理解を深め、一人ひとりの自尊感情を育てていく。 ○芸術鑑賞を実施する。 ○アンガーマネジメント・「7つの習慣」などの研修・取り組みを年1回行う。	
指標 ○校内アンケート調査で「自分を大切にしている」の項目で、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。	

取組内容④【施策3：地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】

- 家庭・地域との連携を図り、保護者が安心して学校行事に参加できるように計画・実施していく。
- 多様な体験活動を実施していく。

指標

- 令和3年度末の保護者アンケートにおける「学校は、学校行事が保護者の参加しやすいように配慮している。」の項目で、肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

## 大阪市立瓜破小学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</b>	
<p><b>全市共通目標（小・中学校）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</li> <li>○小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。</li> <li>○小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。</li> <li>○小学校学力経年調査（校内調査）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。</li> <li>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、総合評価「C」以上の児童の割合を50%以上にする。</li> </ul> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○年度末の児童アンケートにおける「自分で学習計画を立てて学習し、ふりかえりを行い次の学習に活かそうとしている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を60%以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5：子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習に取り組む前提となる力（見る力・運筆の能力等）を高めるために、全校でビジョントレーニングに取り組む。</li> <li>○スマールステップの授業を行い、児童一人ひとりに自分自身のつまずきを克服できるようにする。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を75%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【施策5：子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「計画→学習→ふりかえり→計画」のサイクル、「瓜っ子学習」（家庭学習）に全校で取り組み、自分で学習する習慣を身に付けられるようにする。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童アンケートにおける「自分で学習計画を立てて学習し、ふりかえりを行い次の学習に活かそうとしている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を60%以上にする。</li> </ul>	

取組内容③【施策 7：健康や体力を保持増進する力の育成】

- 体育科の授業でも、ホワイトボードや副読本等を効果的に活用して、めあてを意識した学習活動を行えるようにする。
- 運動を楽しみながら行えるように学習活動や集会等で体を動かす機会を工夫する。

指標

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、総合評価「C」以上の児童の割合を 50 % 以上にする。
- 児童アンケートにおける「体を動かすことが好き」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 85%以上にする。

取組内容④【施策 7：健康や体力を保持増進する力の育成】

- 保健だよりの発行や保健指導を通して、健康の大切さを指導し、家庭にも啓発する。
- 給食の時間や栄養指導を通して、望ましい食習慣を身につけることができるよう指導する。

指標

- 「手洗いタイム」や「けんこうチャレンジ週間」等を実施し、児童アンケートにおける「手洗い・うがい（←児童アンケートから消す）をきちんとしている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 90%以上にする。
- 衛生に関する指導や食に関する指導を月 1 回以上行う。